

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年9月分：速報)

<対世界>

○輸出総額：1兆864億円(伸率：▲0.7%) ⇒ 2か月ぶりのマイナス

・順位：10位、9月としては3位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(561か月、9月は47か月)による。以下同じ。】

・減少品目：自動車(同▲10.7%)、船舶(同▲17.4%)

○輸入総額：7,907億円(伸率：▲5.7%) ⇒ 2か月ぶりのマイナス

・順位：52位、9月としては5位

・減少品目：石炭(同▲24.0%)、金属鉱及びくず(同▲12.7%)

○差引額：2,956億円(伸率：+15.7%) ⇒ 8か月連続の輸出超過

・順位：3位、9月としては1位

為替レート：2025年9月：147.61円/ドル(2024年9月：144.27円/ドルと比べ2.3%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(3,240億円→2,893億円、伸率：▲10.7%)は、アメリカ(890億円→357億円、同▲59.9%)及びオーストラリア(164億円→84億円、同▲48.7%)向けが減少し、6か月連続のマイナスとなった。

また、船舶(500億円→413億円、同▲17.4%)は、パナマ(238億円→106億円、同▲55.5%)及びリベリア(192億円→150億円、同▲22.1%)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

一方、半導体等電子部品(1,802億円→2,021億円、同+12.1%)は、香港(701億円→928億円、同+32.3%)及びベトナム(227億円→322億円、同+42.1%)向けが増加し、3か月連続のプラスとなった。

○輸入

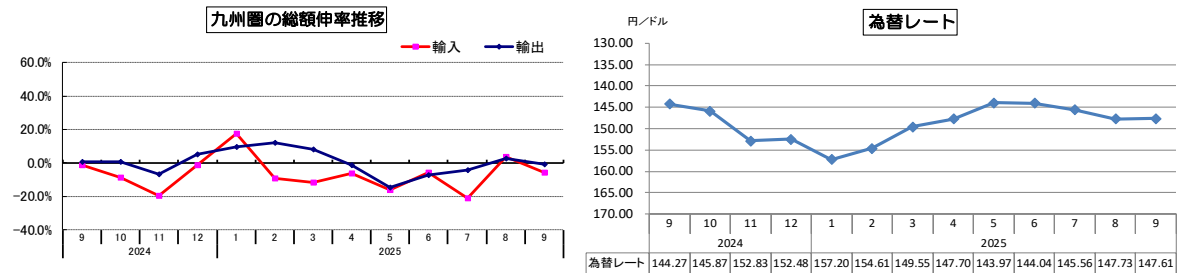
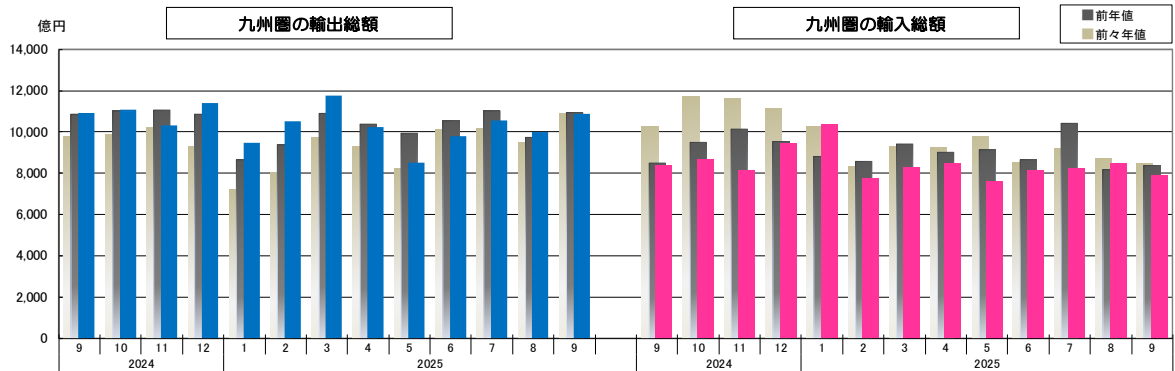
石炭(415万MT→376万MT、伸率：▲9.3%、932億円→708億円、同▲24.0%)は、オーストラリア(285万MT→232万MT、同▲18.6%、658億円→442億円、同▲32.9%)及びインドネシア(109万MT→85万MT、同▲21.6%、232億円→146億円、同▲36.9%)からが減少し、9か月連続のマイナスとなった。

また、金属鉱及びくず(952億円→831億円、同▲12.7%)は、鉄鉱石(309億円→231億円、同▲25.3%)が減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

一方、半導体等電子部品(475億円→540億円、同+13.6%)は、EU(15億円→49億円、同3.2倍)及び中国(49億円→70億円、同+42.1%)からが増加し、2か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

令和7年9月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。